

がんばって ます

谷口木工所

谷口 武一さん (47)

社長

「いやー、経営者というよ
どりで知られる郡上郡八幡町の
品の展示、即売の店舗をオーブ
り、根っからの建具職人です
国道158号沿いにあり、今年
ンした。
よ」という。作業場は、郡上お
四月には、同作業場隣に木工製
谷口さんの父、定次郎さん



「木の特性を生かすように作るのが職人の腕」という谷口武一さん
＝郡上郡八幡町吉野で

(故人)は、クワのような形を
した「ちよるな」と呼ばれる道
具一丁で国鉄線路のまくら木を
専門に作る職人だった。山中に
ある父の仕事場へ通ううち、
「ただの木でも手を加えれば価
値が高くなる」ことを知り、小
学六年の時から木工職人になり
たいと心に決めていたという。

九年間の修業を終え、二十四
歳で独立。窓、扉、障子、床の
間など住宅内の建具を専門に手

建具を中心に 技術を生かす

中学二年の授業で作った鳥カゴ
は、校長を驚かせるほどの出来
栄えだったとか。

がけた。オイルショック以降
は、木造住宅不況に加え、アル
ミサッシの進出で、注文はガタ
ツと減った。しかし、谷口さん

三十二年春、卒業と同時に、
町内でも屈指の建具職人といわ
れた花倉喜之松さん(八巴)に弟子
入り。修業は厳しいなどという

の腕を見込んで同町内の木工メ
ーカーから数寄屋門の扉の注文
や天理教会の神殿も手がけた。

ものではなく、見えない部分で
も削り方が少し悪いと、目の前
でたたき壊された。「手抜きは

最近では、木の温かさ、ぬく
もりなどが見直されて徐々に注
文も増えている。それに伴って

客の材料、技術に対する目も肥
えてきたという。「一年や二
年、天然乾燥させても木はまだ
生きており、木の性質などを知
らないとすぐに狂いが出てく
る。木の特性を生かすように作
るのが、職人の腕」という。

従業員は、谷口さんと実弟の
正夫さん(三三)、それに二十代の
三人の計五人。今年四月に開い
た店には、戸棚、つい立て、座
卓、マンション用の置き床、花
台、花器、一輪挿しなど大小さ
まざまな木工製品が並ぶ。ま
た、お年寄りも安全に入浴でき
る段つきの浴槽、水飲み場に使
う水舟などアイデア商品への注
文もあるそうだ。

(郡上郡八幡町吉野)

《ひとこと》仕事に厳しく、
技術は郡上郡内で五指に入る職
人で、安心して仕事をまかせら
れます。花倉喜之松さん方で一
緒に修業した木工会社「ヤスモ
ク」工場長・中島登さん(四〇)。